

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2017年1月13日まで（2014年1月7日設定）
運用方針	ブラジルリアル建ての国債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。投資に当たっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を保有します。基準価額（1万口当たり。以下本項において同じ。）が12,000円以上となった場合には、短期資産マザーファンド受益証券への投資等を通じて、主としてわが国の短期公社債等による安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。ただし、基準価額が12,000円以上となってから信託を終了させるまでの市況動向や売却コスト等により、基準価額もしくは償還価額が12,000円以下となることがあります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ブラジルリアル建ての公社債を主要投資対象とします。また、基準価額の動向によっては、短期資産マザーファンド受益証券に投資することがあります。
主な組入制限	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド 2014-01

愛称：プチャソート3（ブラジルリアルコース）

信託終了日：2017年1月13日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「繰上償還条項付 ブラジルリアル債券ファンド2014-01」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			受 益 者 回 り 利 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 額 騰 落				
(設定日) 2014年1月7日	円 銭 10,000	円 —	円 銭 —	—	% —	% —	% 100.0	
1期(2015年1月15日)	11,203	10	1,213	12.1	11.8	96.0	45.9	
2期(2016年1月15日)	7,967	0	△3,236	△28.9	△10.0	94.8	33.4	
(償還時) 3期(2017年1月13日)	(償還価額) 10,859.12	—	2,892.12	36.3	2.9	—	17.8	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注) 受益者利回りは元本1万円に対して計算しております。

(注) 当ファンドは、ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2016年1月15日	円 銭 7,967		% —	% 94.8	% —
1月末	8,124		2.0	95.3	—
2月末	7,857		△ 1.4	94.2	—
3月末	8,749		9.8	96.5	—
4月末	8,779		10.2	96.9	—
5月末	8,850		11.1	95.7	—
6月末	9,175		15.2	96.0	—
7月末	9,174		15.1	97.1	—
8月末	9,314		16.9	95.6	—
9月末	9,181		15.2	95.1	—
10月末	9,771		22.6	94.1	—
11月末	9,969		25.1	95.5	—
12月末	10,772		35.2	90.9	—
(償還時) 2017年1月13日	(償還価額) 10,859.12		36.3	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

設定来の基準価額等の推移について

(第1期～第3期：2014/1/7～2017/1/13)

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ8.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	ブラジルリアルが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第1期～第3期：2014/1/7～2017/1/13)

◎債券市況

- ・設定時に比べ、ブラジル債券の利回りは低下しました。
- ・設定時から2014年9月初旬にかけては、米国金利の低下を背景として投資家の高利回り債を 선호する動きが見られるなか、ブラジルの債券利回りは低下基調で推移しました。
- ・9月中旬から2015年前半では、資源価格下落などを背景として世界経済の先行きに対する懸念が強まるなか、新興国全般で利回りが上昇する展開となり、ブラジルの債券利回りも上昇基調で推移しました。
- ・2015年後半から2016年年初までは、インフレ率が高止まりするなかブラジル中央銀行（BCB）が政策金利を複数回引き上げたことに加えて、国営石油会社ペトロブラスなどに対する政治汚職疑惑を巡る混乱や格付会社大手の格下げなどを背景に、金利は大きく上昇しました。
- ・その後は、国内のインフレ圧力が弱まるなか、BCBの政策金利引き下げ期待が金利低下要因となり、金利は低下基調で推移しました。

為替市況の推移
(設定時を100として指数化)



◎為替市況

- ・設定時に比べ、ブラジルリアルは対円で下落しました。
- ・2014年は、ブラジル経済の先行き不透明感や日銀による「量的・質的金融緩和」の拡大などの影響を受けるなか、ブラジルリアルは対円でもみ合う展開となりました。
- ・2015年は、同国の政治不透明感や、資源価格が下落するなか同国経済への悪影響が懸念されたことなどがブラジルリアルの売り材料となったほか、世界経済の先行き不透明感の高まりを受けた投資家のリスク回避傾向の強まりから、ブラジルリアルは対円で下落しました。
- ・2016年は、米国金利が上昇して日米の金利差が拡大したことなどから、円が米ドルに対して下落するなか、ブラジルリアルは対円で上昇しました。また、鉄鉱石など資源価格が上昇したことなども、ブラジルリアルの上昇要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ブラジルリアル建ての国債、政府機関債、国際機関債を主要投資対象としました。
- ・信託期間中は、ブラジルリアル建てのブラジル国債および政府機関債で90%以上の組入比率を維持しました。
- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券の投資にあたっては、ファンドの信託期間と残存年数が近い銘柄を継続的に保有しました。

<第1期：設定時～2015年1月15日>

- ・基準価額は設定時に比べ12.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・債券の利子収益を享受したことや、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどがプラスとなり、基準価額は上昇しました。

<第2期：2015年1月16日～2016年1月15日>

- ・基準価額は期首に比べ28.9%の下落となりました。
- ・債券の利子収益を享受したことはプラスとなったものの、ブラジルリアルが対円で下落したことなどがマイナスとなり、基準価額は下落しました。

<第3期：2016年1月16日～信託終了日>

- ・償還価額は期首に比べ36.3%の上昇となりました。
- ・債券の利子収益を享受したことや、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどがプラスとなり、償還価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ブラジルリアル建てのソブリン債券を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第1期は10円、第2期につきましては見送りとさせていただきます。信託期間中、累計で10円の分配を行わせていただきました。

償還価額

償還価額は10,859円12銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1万口当たりの費用明細

(2016年1月16日～2017年1月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 102	% 1.115	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(49)	(0.531)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.531)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.053)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	27	0.300	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(27)	(0.294)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	129	1.415	
期中の平均基準価額は、9,142円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2016年1月16日～2017年1月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 295	千ブラジルリアル 5,495 (8,760)
		特殊債券	—	985 (1,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)
 (注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年1月16日～2017年1月13日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 40	百万円 —	% —	百万円 652	百万円 29	% 4.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年1月13日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年1月13日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 347,828	% 100.0
投資信託財産総額	347,828	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年1月13日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	347,828,938
コール・ローン等	347,828,938
(B) 負債	1,758,727
未払信託報酬	1,749,952
未払利息	736
その他未払費用	8,039
(C) 純資産総額(A-B)	346,070,211
元本	318,690,772
償還差益金	27,379,439
(D) 受益権総口数	318,690,772口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,859円12銭

<注記事項>

設定年月日 2014年1月7日
 設定元本額 1,780,812,201円
 期首元本額 596,212,962円
 元本残存率 17.8%
 また、1口当たり純資産額は、期末1.085912円です。

○損益の状況 (2016年1月16日～2017年1月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	41,312,460
受取利息	40,794,792
その他収益金	522,336
支払利息	△ 4,668
(B) 有価証券売買損益	97,699,618
売買益	103,784,092
売買損	△ 6,084,474
(C) 信託報酬等	△ 6,339,636
(D) 当期損益金(A+B+C)	132,672,442
(E) 前期繰越損益金	△121,190,377
(F) 解約差損益金	15,897,374
償還差益金(D+E+F)	27,379,439

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年1月7日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年1月13日			資 産 総 額	347,828,938円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	1,758,727円	
				純 資 産 総 額	346,070,211円	
受益権口数	1,780,812,201口	318,690,772口	△1,462,121,429口	受 益 権 口 数	318,690,772口	
元 本 額	1,780,812,201円	318,690,772円	△1,462,121,429円	1万口当たり償還金	10,859円12銭	
毎計算期末の状況						
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金 額	分 配 率	
第1期	817,929,621円	916,294,019円	11,203円	10円	0.1%	
第2期	596,212,962	475,022,585	7,967	0	0.0	
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				869円12銭	2.8786%	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	10,859円12銭
----------------	------------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。